

日本爬虫両棲類学会

第 44 回大会

プログラム

東北大学川内北キャンパス

2005 年 11 月 12 日 (土) ~13 日 (日) 仙台

日本爬虫両棲類学会 第44回大会 日程

2005年11月12日（土）

受付 9:00～

開会 9:45

口頭発表 10:00～12:15

昼食

ポスター発表 13:15～14:45

口頭発表 15:00～17:45

懇親会 18:00～20:00

2005年11月13日（日）

口頭発表 9:30～11:00

記念写真撮影 11:00～11:15

ポスター発表 11:15～12:15

昼食

総会 13:10～14:10

口頭発表 14:15～16:30

自由集会 16:30～18:30

大会会場： 仙台市青葉区川内 東北大学川内北キャンパス講義棟（受付はA棟2階）

会費：大会参加費 3,500円、懇親会費 4,500円

大会事務局：〒980-8578（住所不要）東北大学大学院生命科学研究科生態システム生命科学専攻内

日本爬虫両棲類学会第44回大会事務局 太田 宏 E-mail: ota@mail.tains.tohoku.ac.jp

TEL：022-795-7737 注意：開催日には電話に出られません。

口頭発表される方へ

講演は1題につき発表時間12分、質疑応答が3分です。10分、12分、14分30秒に予鈴をならします。時間を厳守してください。会場にはMac (OsX) およびWindows (XP) (使用できるプレゼン用ソフトはPower Pointだけです) を用意します。持ち込まれたノートパソコンをつなぐことはできません。PCプロジェクター用のデータはCD-Rに焼き、OS名、講演番号、発表者名を明記して早めに受付に提出してください。CDの破損によって読み込めない場合もありますので、コピーをご用意下さい。発表時間が限られていますので、円滑な進行のために、動作に時間がかかるような重いアニメーション等の入ったプレゼンテーションは避けください。また、PCトラブル時にも対応できるようにOHPでのバックアップの用意をお勧めします。

ポスター発表される方へ

パネルに講演番号を付けてありますので、所定のパネルをご使用下さい。パネルは幅90cmで高さは床面から240cmです。その範囲で特に上下の制限は設けませんが、見やすいプレゼンテーションを考えてお使いください。ポスターは講演時間にかかわらず、11月12日の午前中から貼ることが可能です。ポスターは11月13日16:30までにはがしてください。この時刻までにはがされていないポスターは事務局で処分します。

講演要旨の提出

講演要旨はできるかぎり電子データでお願いします。詳細は、和文誌編集委員会からのお知らせを参照してください。

口頭発表 A 会場 (A200 番教室) 11月12日 (土)

- A-01 10:00~10:15 伊藤邦夫 (川崎医大附属高校)
「岡山県及び隣県のダルマガエルの生息状況と保全」
- A-02 10:15~10:30 篠原 望 (香川県自然科学館)
「香川県平野部におけるトノサマガエル激減の原因に関する一考察」
- A-03 10:30~10:45 三浦郁夫 (広島大・院理・両生類)
「カエルの色変わり -過去10年間、日本各地から寄せられた情報-」
- A-04 10:45~11:00 ○中村泰之 (琉大・理工・海自)・太田英利 (琉大・熱生研)
「沖縄島南部のフィッシャーから産出した両生・爬虫類、特にカエル類の化石について」
- 【休憩 15 分】
- A-05 11:15~11:30 ○大西 拓・太田英利 (琉大・熱生研)
「同所的に生息するハナサキガエル類2種における活動性の季節変異と移動について」
- A-06 11:30~11:45 ○岩井紀子(東大・農学生命・森林動物)・亘悠哉(東大・農学生命・生物多様性科学)・戸田光彦(自然研)・加賀谷隆(東大・農学生命・森林動物)
「オットンガエルの生態～分布、年齢、繁殖～」
- A-07 11:45~12:00 ○亘 悠・岩井紀子・宮下 直(東大・農学生命・森林動物)
「オットンガエル (*Rana(babina)subaspera*) の食性」
- A-08 12:00~12:15 ○佐野尚美・倉林 敦 (広大・院理・両生類研)・藤井 保 (県立広大・人間・健康)・米川博通 (東京都・臨床研・実験動物)・住田正幸 (広大・院理・両生類研)
「アオガエル科におけるミトコンドリアゲノム構造の進化」
- 【昼休み (12:15~13:15)】
- ポスター発表 (13:15~14:45)
- A-09 15:00~15:15 ○尾形光昭 (横浜市環境創造局繁殖センター)・三浦郁夫 (広大・院理・両生類研)・長谷川嘉則 (藤田保健衛生大・総医研)
「XX/XY型およびZZ/ZW型性決定機構をもつ2つのツチガエル地方集団間における境界領域の特定 - 性連鎖遺伝子のタイピングによる解析」
- A-10 15:15~15:30 ○住田正幸・Mohammed Mafizul Islam・小瀧 学・西岡みどり (広島大・院理・両生類研)
「日本産ヌマガエル4集団 (西表島、石垣島、沖縄、広島) の雑種の雄における減数分裂」
- A-11 15:30~15:45 林光武 (栃木県博)
「アカハライモリの腹の模様の長期にわたる安定性と変化」
- A-12 15:45~16:00 持田浩治 (京大・理・動物)
「腹をみせるイモリとみせないイモリ：警告色と防御行動の二つの地理的変異の関係」

- A-13 16:00～16:15 ○柄本武良（日本ハンザキ研究所）・清水邦一（姫路市立水族館）
「兵庫県市川水系におけるオオサンショウウオの生態-人工巣穴設置による産卵場所復活の試みⅡ」

【休憩 15 分】

- A-14 16:30～16:45 ○青木 玄・松井正文・西川完途（京大・人間・環境）
「トウホクサンショウウオの遺伝的変異（予報）」
- A-15 16:45～17:00 ○吉川夏彦・松井正文・西川完途（京大・人間・環境）
「ハコネサンショウウオの遺伝的変異（予報）」
- A-16 17:00～17:15 ○富永 篤・松井正文（京大・人間・環境）・見澤康充（建設環境研究所）・西川完途（京大・人間・環境）
「北部九州産ブチサンショウウオ2型の年齢構成の比較」
- A-17 17:15～17:30 ○渡部祐子・松井正文・西川完途・富永篤（京大・人間・環境）
「京大構内人工池周辺に生息するカスミサンショウウオの食性」
- A-18 17:30～17:45 ○照井滋晴（北海道教育大・釧路）・澁谷千尋（標茶町郷土館）
「釧路湿原塘路地区に生息するキタサンショウウオの移動」

□頭発表 B 会場（B200 番教室） 11月12日（土）

- B-01 10:00～10:15 ○多田哲子・坂 雅宏（京都府保健環境研）・白石寛明・白石不二雄（国立環境研）・鎌田洋一（大阪府大・生命環境科学）
「外因性エストロゲンによるクサガメへの生理学的影響について」
- B-02 10:15～10:30 ○藤井亮（琉大・理工・海自）・太田英利（琉大・熱生研）
「新潟県で発見されたクサガメ-ミナミイシガメの想定雑種個体群の遺伝的解析（爬虫綱、イシガメ科）」
- B-03 10:30～10:45 高橋亮雄（琉大・理工）
「宮古島天川洞から産出した後期更新世イシガメ類化石の分類学的再検討」
- B-04 10:45～11:00 佐藤寛之（琉大・熱生研）
「沖縄島北部におけるスッポン外来個体群の密度と微環境利用」
- 【休憩 15 分】
- B-05 11:15～11:30 ○岩本太志（東大・院・農）・亀崎直樹（ウミガメ協/東大・院・農）・松沢慶将（ウミガメ協）・石原 孝・日野明徳（東大・院・農）
「室戸岬沿岸に来遊するアカウミガメ(*Caretta caretta*)の接餌特性」
- B-06 11:30～11:45 ○坂 雅宏・多田哲子（京都府保健環境研）・岩本太志・松沢慶将・亀崎直樹（日本ウミガメ協議会）
「ウミガメ類の血中タンパク組成について」
- B-07 11:45～12:00 小菅康弘（カメネットワークジャパン）
「日本産淡水性カメ類の生息地保全のための全国的な調査の提唱」

- B-08 12:00～12:15 ○細 将貴（京大・理・動物）・浅見崇比呂（信州大・理・進化生物）・堀 道雄（京大・理・動物）
「セダカヘビ類における右巻きカタツムリ捕食への適応」

【昼休み（12:15～13:15）】

ポスター発表（13:15～14:45）

- B-09 15:00～15:15 ○勝連盛輝・寺田考紀（沖縄県衛生環境研・ハブ研）
「沖縄本島南部におけるサキシマハブ捕獲調査」
- B-10 15:15～15:30 鳥羽通久（蛇研）
「奄美群島でのハブ予防接種の概要」
- B-11 15:30～15:45 増永 元（琉大・熱性研）
「イイジマウミヘビ（爬虫綱、コブラ科）における消化管内容物の季節変異」
- B-12 15:45～16:00 田中幸治（京大・理・動物）
「お寒いのがお好き？：シマヘビにおける選好体温の色彩型間比較」
- B-13 16:00～16:15 木寺法子（琉大・理工・海環）
「マダラヘビ属3種、亜種におけるヒキガエル毒への耐性：有毒な餌との分布の履歴と耐毒性との関係について」

【休憩 15分】

- B-14 16:30～16:45 瀧口 熱（琉大・理工・海環）・戸田 守（京大・理・動物）・太田英利（琉大・熱生研）
「アロザイム法を用いたアカマタ *Dinodon semicarinatum*（爬虫綱、有鱗目）の遺伝的変異の解析」
- B-15 16:45～17:00 ○片山 亮（弘前大院・農学生命）・長谷川雅美（東邦大・理）・森哲（京大・理・動物）・森部絢嗣（名大院・生命農学・動物管理）・黒尾正樹（弘前大・農学生命）・小原良孝（弘前大・農学生命）
「mtDNA を指標としたシマヘビの系統地理（II）」
- B-16 17:00～17:15 ○池田忠広（鹿児島大・院理工研）・大塚裕之（鹿児島大・理）
「琉球列島、沖縄島産前期更新世蛇類化石の古生物学的研究」
- B-17 17:15～17:30 戸田守（京大・理・動物）
「鹿児島県におけるヤモリ属の分布」
- B-18 17:30～17:45 太田英利（琉大・熱生研）
「琉球列島、台湾における市街地のヤモリ相：特に優占種の経時的变化について」

口頭発表 A 会場 (A200 番教室) 11月13日 (日)

- C-01 09:30~09:45 関谷國男 (新潟大・理・自然環境)
「佐渡島の両生類」
- C-02 09:45~10:00 ○佐藤孝則 (天理大)・中林成広 (北海道両爬研)・神松幸弘 (総合地球環境研)
「北海道知床岬における両棲爬虫類の分布」
- C-03 10:00~10:15 ○亀崎直樹 (日ウミガメ協・東大・院・農)・松沢慶将・大鹿達弥・島 達也 (日ウミガメ協)・田中幸記 (黒潮生物研究財団)
「アカウミガメ (*Caretta caretta*) の産卵前回遊経路の人工衛星による追跡」
- C-04 10:15~10:30 ○伊藤士人 (山形大・院理工・生物)・玉手英利・半澤直人 (山形大学理学部)
「パラオにおけるミドリツヤトカゲ、*Lamprolepis smaragdina* の遺伝的多様」
- C-05 10:30~10:45 ○戸田光彦・中川直美・鋤柄直純 (自然研)
「小笠原諸島におけるグリーンアノールの個体群構造」
- C-06 10:45~11:00 ○岡本 卓・本川順子・疋田 努 (京大・理・動物)
「ニホントカゲの日本列島における地理的分化」

写真撮影 (11:00~) ポスター発表 (~12:15)

【昼休み (12:15~13:10)】

総会 (13:10~14:10) A200 番教室

- C-07 14:15~14:30 ○張東君 (財団法人台北動物園保育教育基金会)・石芝菁・陳寶忠 (台北市立動物園)
「爬虫両生類保護における動物園の役割」
- C-08 14:30~14:45 ○島田知彦・松井正文 (京大・人間・環境)・モハメッド=マリアティ (サバ大)・マクラリン=ラキム・ポール=ヤンブン (サバ公園局)
「マレーシア・サバ州産ボルネオハヤセガエル属の1隠蔽種について」
- C-09 14:45~15:00 ○松井正文・西川完途・島田知彦 (京大・人間・環境)・モハメッド=マリアティ (サバ大)・マクラリン=ラキム・ポール=ヤンブン (サバ公園局)
「マレーシア・サバ州の両生類インベントリー再評価」
- C-10 15:00~15:15 ○井川 武・倉林 敦・住田正幸 (広島大・両生類研)
「ミトコンドリアゲノム全塩基配列に基づく無尾目の高次系統関係および分岐年代の推定」
- 【休憩 15 分】
- C-11 15:30~15:45 ○小瀧 学・Tjong Hon Djong・倉林 敦・住田正幸 (広島大・院理・両生類研)・松井正文 (京大・人間・環境)
「ミトコンドリア DNA 遺伝子の塩基配列から推定したタイ産ヌマガエル種群における遺伝的分化」

- C-12 15:45～16:00 ○Djong Hon Tjong・Mohammed Mafizul Islam・西岡みどり・住田正幸（広大・院理・両生類研）・松井正文（京大・人間・環境）・倉本 満（宗像市）
「Genetic relationships and population structure of the *Fejervarya limnocharis* complex from Indonesia (Java) and other Asian countries revealed by allozyme analysis」
- C-13 16:00～16:15 ○Mohammed Mafizul Islam・Mohammed Shafiqul Alam・Tjong Hon Djong・住田正幸（広大・院理・両生類研）・Mohammed Mukhlesur Rahman Khan・Mohammed Abul Hasanat（バングラデシュ農業大学）
「Genetic differentiation and speciation in the *Fejervarya limnocharis* complex from Bangladesh and some other Asian countries elucidated by morphological characteristics, allozyme analysis, crossing experiments and cytological observation」
- C-14 16:15～16:30 足田 努（京大・理・動物）
「系統地理学関係から祖先地域を推定」

自由集会 11月13日（日）16:30～18:30

カエル探偵団 A200番教室

カメ会議 A202番教室
「日本の淡水性カメ類の現状とその現状の回復対策について」

ポスター発表 (A201 教室)

11月12日(土) 13:15~14:45、11月13日(日) 11:00~12:15

- P-01 ○林 義雄 ((株)環境管理センター)・草野 保(都立大・理・生物)
ミトコンドリア遺伝子D-loop領域に基づくトウキョウサンショウウオの遺伝的多様性
- P-02 ○小賀野大一・田中一行・八木幸市・吉野英雄・笠原孝夫(千葉県の野生生物を考える会)
トウキョウサンショウウオの谷津田における産卵場
- P-03 ○川内一憲(福井・両爬研)・藤井 豊(福井・両爬研/福井大・医・分子生命化学)・長谷川巖(福井・両爬研)・松井正文(京大・人間環境)
石川県産アベサンショウウオについて
- P-04 ○石塚裕樹(島根大・生物資源・動物生態)
生息地の標高差によるカスミサンショウウオ個体群の年齢構成の変化
- P-05 ○阪田和弘(九大・生物資源)・坂本真理子(熊大・自然科学)・松井正文(京大・人間・環境)
九州中部におけるブチサンショウウオ2型間の食性比較
- P-06 ○坂本真理子(熊大・自然科学)・富永 篤・松井正文(京大・人間・環境)・阪田和弘(九大・生物資源)・内野明徳(熊大・自然科学)
ミトコンドリアDNA解析に基づく九州産小型ブチサンショウウオの系統地理
- P-07 ○見澤康充(建設環境研究所)・松井正文(京大・人間・環境)
東京都八王子産ヒダサンショウウオの年齢構成の経年変化
- P-08 ○藤谷武史(東山動物園)・伊原禎雄(奥羽大・生物)
名古屋市産カスミサンショウウオの一腹卵数と体サイズの観察
- P-09 長谷川 巖(武生市役所)
アベサンショウウオのビオトープでの産卵成功と福井県の希少野生生物保全指導員制度
- P-10 ○澁谷千尋(標茶町郷土館)・照井滋晴(北海道教育大・釧路)・佐藤孝則(天理大学)・中林成広(北海道両爬研)
釧路湿原塘路地区に生息するキタサンショウウオの繁殖状況
- P-11 ○小椋 吉範(下伊那陸水研究会)・長尾 孝之(小さな自然の会)
木曾川源流の岩場に集結するハコネサンショウウオの夏期の成体
- P-12 ○松井久実・西田利穂(麻布大・獣医・生理1)・高市真一(日医大・生物)
イモリのCarotenoid Coloration
- P-13 ○西川完途・松井正文(京大・人間・環境)・ポール=ヤンブン・マクラリン=ラキム(サバ公園局)・モハメッド=マリアティ(サバ大)
ボルネオ産アシナシイモリ1種の野外での抱卵観察
- P-14 南部久男(富山市科学文化センター)・荒木克昌(ワイルドアイズ)・福田 保(富山西高校)
富山県中央部里山の両生類

- P-15 大澤啓志（慶應大・総合政策）
石積棚田域の両生類相、特に休耕化の影響について
- P-16 ○戸金 大（明大・院・農学研）・倉本 宣（明大・農）・福山欣司（慶應大・生物）
谷戸環境におけるトウキヨウダルマガエルの移動
- P-17 ○小山淳（宮城・古川農試）・平井利明（東北大・院農研・複合生態フィールド教育研究センター）
東北地方南部の水田地域におけるニホンアカガエルの産卵時期と場所
- P-18 中野裕介・○森 貴久（帝京科学大・アニマルサイエンス）
ヤマアカガエルの産卵場所選択：ビオトープ池の場合
- P-19 ○太田 宏（東北大・生命科学）・Nataliya Yurlova（ロシア科学アカデミー・動物分類生態研）・菊地 永祐（東北大・東北アジア研究センター）
西シベリア、チャニー湖における *Rana arvalis* の分布とサリニティーの関係について II
- P-20 ○渡辺有紀（東邦大・理・生物）・長谷川雅美（東邦大・理・生物）
止水性無尾両生類の温度選好性と高温限界耐性
- P-21 ○真山春菜（東邦大・理・生物）・長谷川雅美（東邦大・理・生物）
無尾両生類における跳躍能力の温度依存性
- P-22 平井利明（東北大・院農研・複合生態フィールド教育研究センター）
水田で採餌するサギ類にとってカエルは重要な餌なのか？
- P-23 ○亀山 剛（復建調査設計株式会社）・森田敏弘（復建調査設計株式会社）・岡田 純（鳥取大・連合農）・宇都宮妙子（広島市）・内藤順一（広島・安古市高等学校）・市川洋子（県立広大・生命環境）
広島県神辺町産ダルマガエル個体群の野生復帰について
- P-24 ○藤岡健司・近藤洋一朗・渡辺 仁・甘崎恭徳・谷岡 仁・松井宏之・宮畠貴之・吉井啓貴（（社）日本環境アセスメント協会・研究部会 自然環境影響評価技研）・渡辺有紀・長谷川雅美（東邦大・理・地理生態学）
ロジスティック回帰分析を用いたアカガエル類の産卵環境の予測
- P-25 ○倉石典広（琉大・理・海自）・太田英利（琉大・熱生研）
中琉球におけるハロウェルアマガエル (*Hyla hallowellii*) (両生類、無尾目) の遺伝的変異
- P-26 ○松島野枝・河田雅圭（東北大・院・生命科学）
マイクロサテライトマーカーによるニホンアカガエル局所集団の遺伝的多様性の解明
- P-27 ○本多正尚（琉大・教育）・安川雄一郎（琉大・熱生研）・太田英利（琉大・熱生研）
ミトコンドリアDNAから推定されたイシガメ科の系統関係
- P-28 ○佐藤方博・鈴木貴司（特定非営利活動法人 生態工房）
東京都武蔵野地域におけるカミツキガメの確認状況
- P-29 ○岡田夕季（名古屋大学大学院生命農学研究科）、矢部 隆（愛知学泉大学政策コミュニケーション学部）
ニホンイシガメ *Mauremys japonica* における成長速度の個体群間変異（予備的報告）

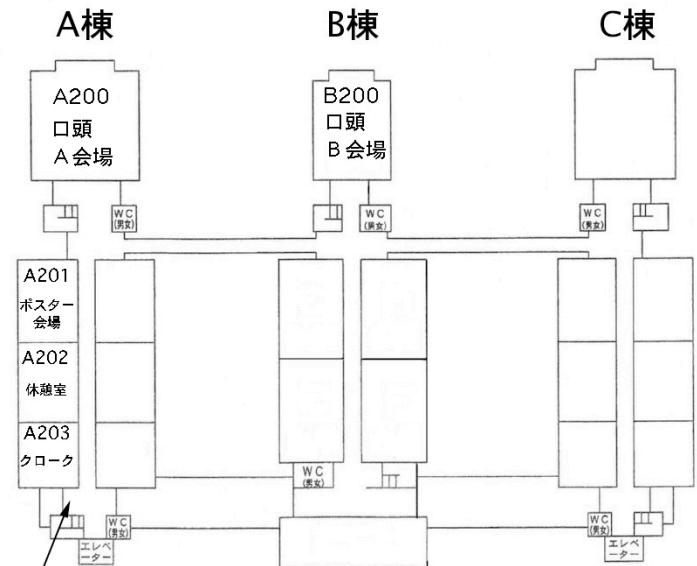
- P-30 ○臼田隼人(東邦大・理・生物)・長谷川雅美(東邦大・理・生物)
都市河川における改修工事がカメ類に与える影響
- P-31 ○石原孝・亀崎直樹・岩本太志(日ウミガメ協・東大・院・農)・山下傑(高岡大敷組合)・
日野明徳(東大・院・農)
アカウミガメの繁殖器の形態
- P-32 矢部 隆(愛知学泉大・コミュニティ政策)
ニホンイシガメ *Mauremys japonica* による水田の有害外来動物スクミリンゴガイ *Pomacea canaliculata* の駆除効果について
- P-33 Maslova Irina (State Nature Reserve "Khankaiskii")
New data about common habitat of two species *Takydromus* (*T. amurensis* and *T. wolteri*) in Russia.
- P-34 Chang, Min-Ho・○Song, Jae-Young (Kyonggi Univ.)・Lee, Jong-Nam (Kyunsung Univ.)・Chung Kyu-Hoi (Kyonggi Univ.)・Oh Hong-Shik (Cheju National Univ.)
The current status of Korean Lizards (Reptilia: Squamata)
- P-35 ○山本友里恵(琉大・理工)・太田英利(琉大・熱生研)
琉球列島産ヤモリ類3種において孵卵温度が出生性比に与える影響(爬虫綱、有鱗目)
- P-36 ○栗山武夫(東邦大・理・生物)・岡本 阜(京大・理・動物系統)・長谷川雅美(東邦大・理・生物)
オカダトカゲ(*Eumeces latiscutatus*)の黒化個体における皮膚の色素細胞の微細構造
- P-37 ○森口 一・堺 淳・鳥羽通久(蛇研)
日本における毒蛇咬症の実態
- P-38 ○寺田考紀・勝連盛輝(沖縄県衛生環境研・ハブ研)
誘導網トラップのサキシマハブ捕獲効果
- P-39 Day, Yeong-Tyi (中原大・設計・景観)
Symbiotic Seedling Garden: A design case for sustainable campus in Taiwan
- P-40 田口勇輝(大阪府立大・生命環境科学・緑地保全創成)
オオサンショウウオの繁殖期移動と農業堰堤の関係

川内地区案内図



- 1: 川内北合同研究棟（運営委員会会場）
 6: 講義棟（口頭発表・ポスター発表会場）
 8: 川内北キャンパス厚生会館（懇親会会場）

バス停「扇坂」は8の南側道路に、
 「川内郵便局前」は25の北側道路にあります。



仙台駅からのアクセス

- ・仙台市営バス 駅前バスプール9番乗り場より「宮教大行き」、「青葉台行き」、「動物公園循環」に乗車し「扇坂」バス停で下車。
 - ・仙台市営バス 駅前バスプール16番乗り場より「交通公園行き」、「交通公園循環」に乗車し、「川内郵便局前」バス停で下車。
- 土日はバスの本数が少ないのでご注意ください。
- 仙台市交通局HP <http://www.kotsu.city.sendai.jp/>で時刻表が見られます。

大会事務局： 大会委員長 東北大学大学院生命科学研究科 太田 宏
実行委員長： 奥羽大学歯学部 伊原禎雄